



自然と人間社会が共生する只見町

議会だより

No.167

令和4年4月22日発行

2022 APRIL



**スタンドから思いを込めて
熱い応援**

未来に託せる持続的まちづくり

予算総額約83億円 2~5

一般会議 地域の守り手確保 8

10名が町政を問う！一般質問 13~23

只見町議会中継は、只見町議会
ホームページからも視聴できます。
議会中継へ→



寄贈 只見高校野球部甲子園出場後援会

4年度予算総額

まちづくり」82億9千万円

(千円未満切り捨て)

自然と共生するまちづくり (雪・居住・環境)

* 除雪事業 **1億9308万円**

町道除雪委託 1億8480万円、歩道除雪委託 828万円

* 道路、定住環境整備事業

1億4454万円

空き家対策 1400万円、民間賃貸住宅 1394万円、
町道改良 4510万円、橋梁長寿命化 7150万円



* 上下水道整備事業 **1億3175万円**

統合簡易水道 3881万円、集落排水施設整備 9294万円

3月2日から11日まで延べ10日間開催され、令和3年度補正予算、条例改正案、令和4年度予算特別委員会を設置しての3日間の集中審議が行なわれました。一般会計、特別会計を含め、全32議案、同意2案件を原案のとおり可決しました。振興計画に基づいた5本の柱、主なものを抜粋してお知らせいたします。

文化に根づく人づくり (スポーツ、文化、教育)

* 文化財保護整備

847万円

旧長谷家茅葺屋根改修

* 体育施設整備

3921万円

町下野球場照明設備、町民体育館照明LED化

* スクールバス新規購入

997万円

スクールバス更新



ナイターで行われた只見高校 VS 大垣日大高校

「未来に託せる持続的な」

(千円未満切り捨て)

住民が主役のまちづくり (公共施設、インフラ、交流)



新築された
榎戸集会施設

* 集会施設整備事業

7906万円

下福井集会施設新築等 6525万円、
各集会施設修繕 1381万円

* 只見駅前賑わい創出事業

1億2341万円

駅前整備、賑わいづくり整備等

* 只見線鉄道施設等維持管理負担金

1935万円

只見線上下分離方式運営にかかる負担金

住みやすいまちづくり (健康、安全、防災)

* 広域市町村圏組合消防費

2億2254万円

広域消防署
只見出張所新築事業



* 子宮頸がん予防ワクチン接種

791万円

* 新型コロナワクチン接種

924万円

働きがいのあるまちづくり (農業、人材確保、地域の魅力発掘)

* 夢ある農業応援事業補助金

2691万円

田畑10a以上耕作の販売農家に対して機械購入補助

* U・Iターン有資格者確保

1000万円

有資格者人材確保推進給付金として
1人あたり250万円

* モンベル包括協定推進事業

880万円

連携し、問題解決に取り組んでいく

自然体験促進による環境保全意識の醸成
子どもたちの生き抜いていく力の育成
自然体験促進による健康増進
防災意識と災害対応力の向上
地域の魅力発信とエコツーリズム促進、地域経済の活性化
農林水産業の活性化
高齢者、障がい者等の自然体験参加の促進

モンベルと只見町の7つのミッション

予算
審議

クローズアップ

主な
質疑応答

*あなたも議会傍聴してみませんか。お待ちしております。

歳入

問 * 税収減をどのように捉え対応するか

答 地方交付税、固定資産税、町民税の今後の見込みは。

問 地方普通交付税は今後減少する見込みだ。令和3年度は緊急経済対策などの理由で交付金額が上がった。大規模固定資産税は今年度も990万円の見込みだ。町民税も減収の見込みだ。

答 税収が10年で1億5千万円ほど減っている。財政縮小に合わせた事業計画をしていくのが重要だが、行財政改革についての考えは。条例に基づいて進めるのか。

問 行財政審議会条例に基づいてしっかりとやっていく。

* 森林環境譲与税

1029万円

問 今後の交付の見通しは。昨年度実績と今年度の予定は。

答 令和5年度は同額、令和6年度以降は1263万円の見込みだ。令和3年度は黒谷地区の刈り払い、令和4年度は森林整備や鳥獣対策に利用したい。

問 * 自然首都・只見応援基金寄附金

3000万円

問 寄附金3000万円、昨年度の倍額の根拠は。ふるさと納税の強化が必要では。

答 3月補正で2200万円決算見込みだ。3000万円を目指したい。企業版ふるさと納税も視野に、JR只見線負担金の一部にあてていきたい。

歳出

問 * 中山間地域等直接支払・多面的機能支払交付金制度

3343万円

問 中山間・多面的制度を利用している集落数は。制度の終了期限はあるのか。

答 中山間制度は19集落、多面的制度は13集落。5年ごとに計画を立てていき、永続的な制度である。

問 * プレミアム商品券発行事業

1740万円

問 発売日の考え方について、福祉の考えが抜けているのではないか。年金の支給日などにできないのか。

答 商工会と協議し、実施が可能な範囲で発売日を検討したい。

* 介護タクシー利用助成事業補助金

124万円

問 利用方法の改善をして、自己負担だけの支払いにできないか。

答 年度初めからできるよう検討中だ。早く実現するように準備を進めたい。



ご利用ください

* 雇用促進奨励助成金

922万円

問 対象人数は何人想定しているのか。対象事業所へは丁寧な説明が必要では。

答 令和3年4月1日以降に雇用された方、55人分を対象。積極的に説明していく。

* 只見線鉄道施設等維持管理負担金

1935万円

問 この負担金は不変的なものか。

状況によっては軽減される場合があるのか。

答 負担金は多額であるため、国にも財源を要望している。年度分で支払うが、運行実績に合わせて精算になる。降雪状況によって負担金の額が変わる場合がある。



これからが勝負

* 民間賃貸住宅借上料（民間建設・買取型住宅事業）

1394万円

問 民間借上げ住宅なのか。建設予定地の土地は。

答 買い取り型住宅で借上げ住宅ではない。土地は只見沖地内の町有地になる。单身世帯向け住宅を7

世帯程度、公募をして民間の方に建築してもらおう。早く建築して早く入居ができる手法を取りたい。

***除雪オペレーター育成支援事業補助金 100万円**

問 利用者が少ない。もう少し利用できるように見直しが必要では。

答 令和元年度から実施している。除雪オペレーター確保は重要であるので、検討したい。



朝早くからごろうさまで

***水稲生産意欲向上支援対策事業補助金 434万円**

問 他町村に比べると手薄だ。苗をJ A以外で購入する方にはいき届かない支援だ。多くの方に届く制度設計にすべきだ。

答 町内事業者から購入する場合には、補助額を差し引いた金額で農家に請求される。町外から購入する場合も助成の対象としたい。

***夢ある農業応援事業補助金 2691万円**

問 3ヶ年で区切ってやる制度では効果が薄いのではないか。農業の実情にあっているか。耕作に必要なコンバインも含むのか。乾燥施設は対象になるか。

答 農業の実態を踏まえ、永続的に行なうかは検討したい。稲作農業に関わるもので汎用的なものではないが該当する。

***田子倉無料休憩所・公衆トイレ清掃管理委託料 249万円**

問 どのような精査をしているのか。算出の根拠は。

答 常時設置は週2回、仮設は週1回。繁忙期は週3回、閑散期は週1回などの調整はしている。



トイレは町のおもてなし

***克雪対策事業補助金 1000万円**

問 塗装事業で安全確保のため足場への補助や、景観条例に沿うように指定の色にするべきだが検討されたか。

答 両方とも強制はできないが推奨をする。

***経営改善人材確保補助金 各468万円**

問 湯ら里と振興公社にそれぞれ468万円上がっている。適正な相手なのか、基準は。

答 外部人材に会社に入っていたら、き人材育成、分析指導をお願する。町外にいるときには営業活動や宣伝もしていただくことを考えている。将来的には一体的な連携が必要だ。

***林業施策**

問 林業は農業に比べ振興策が少ない。ある程度時間を過ぎせるような森を目指した昔の里山をイメージする施策はできないか。

答 林業振興策として、薪ボイラー導入事業を中心にしていけば、山林、地域全体の経済を考えると、その順序で進めたい。

予算特別委員会意見

委員長 鈴木好行

副委員長 山岸国夫

一般会計予算

① 委託料のうち、特に指定管理料においては、年々増加の傾向にあるが、その設置目的の達成のため、指定管理者と連携を強化し、事業の執行に努められたい。また、補助金・負担金事業においては、本来の目的を達成するため、事業の精査を十分に行うとともに、負担金、補助及び交付金については、交付による事業効果の検証を厳格に実施されたい。

国民健康保険施設特別会計予算

② 基金繰入金が増加し、運営が年々厳しくなると思われる。来年度以降の財源対策に努めること。

豪雪の中にもひかりが!

1月から3月会議 主な条例改正や補正予算



第94回甲子園

只見町国民健康保険税条例の改正

子育て世帯への経済的負担軽減のため、令和4年4月1日から未就学児がいる世帯に対して、一律に未就学児の均等割額を軽減するために条例を改正。

問 子育て支援や移住促進の先進地では、自治体独自で18歳以下の国民健康保険税を全額免除しているが、只見町は採用の考えはあるか。この制度で減額となる対象人数は。

答 県全体で税率を統一する動きがある。対象は17名。

3月
会議

歳入

ふるさと納税「自然首都・只見」応援基金寄付金

1500万円

只見高校の甲子園出場決定に伴い納税額が大幅増加。

歳出

ふるさと納税返礼品・システム使用料

547万円

納税額が増え、返礼品購入額や管理料が増額。

只見高校 感動をありがとう!

2月
会議



歴史的4回裏

只見高校後援会補助金

1000万円

第94回選抜高校野球大会甲子園出場支援補助金。

応援広告費

300万円

がんばれ只見高校!!

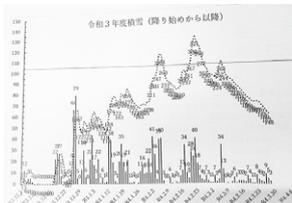
(千円未満切り捨て)

(千円未満切り捨て)

町道除雪委託料

1億5000万円

豪雪により町道除雪維持費が増大。



最高積雪量は2月23日の321cm

除雪支援事業給付金

572万円

豪雪対策福祉支援として2万2千円を260軒分給付。

2月 会議

新型コロナウイルスワクチン接種事業

489万円

新型コロナウイルス3回目のワクチン接種費用。

臨時特別給付金

7370万円

住民税非課税世帯等に対して、1世帯当たり10万円を737世帯給付。

1月 会議

みなさまからの請願・陳情について

継続審査

只見町観光まちづくり協会が所有していたログハウスの利活用に関する陳情書

経過

ログハウス等購入調査特別委員会を設置し、現地調査及び陳情者からの聞き取り調査を実施し、今後、各委員の意思確認が必要とし、継続審査とした。



ログハウスの有効利用を

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

採択

経過

3月会議において、全員一致で採択とした。

継続審査

農地・農業用施設等の災害復旧事業等に係る町の支援制度の改善をお願いする件

継続審査

毘沙沢林道の全線舗装と常時除雪、町道編入をお願いする件

平和な世界を!

ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議案が提出され、全会一致で可決された。

地域の守り手確保 大きな課題

一般 会議

令和4年3月15日に只見町建設業協会と一般会議を開催しました。数年後に開通する国道289号八十里越の除雪体制の課題、町内除雪についての問題点、提案など、建設業者の視線で多くの意見が出されました。課題は山積しており、今後定期的に意見交換、現地視察を行ない、事業者の声に向き合い町政に反映できるよう議会として検討を重ねていきます。

開通後の道路除雪はどうする？

● **人材確保**が最重要課題、町内だけでなく、沿線路線全て問題になる。町内除雪が朝8時までに完了できなくなる可能性がある。

● **除雪**の人材確保のための練習用機械、教育の person 費が課題。県の機械を町に払い下げできないか。

● 除雪車の遠隔操作については実証実験がされてきているが、多くの課題も見えてきた。

● 除雪ステーションの機能充実、従来のような除雪車庫ではなく、管理、監視、機能整備がされ

た管理事務所、宿泊もできる施設整備。ステーション内で車両整備できる施設でないか。故障時の対応が難しい。

● **開通**後数年は、冬季通行は様子を見させてほしい。開通後24時間車両通行の中で除雪ができるのか。安全確保が読めない。病院に行く、緊急車両の通行の安全性を担保しないと通行が難しい。立ち往生した際、除雪車、緊急車両が通行できる車線の整備を。

● **給油体制**の整備をしないで24時間の除雪ができるのか、給油体制整備が必要。

● 開通前に試験的に除雪を実施して、現場の状況を把握することが必要。関係者総出の協議会設置が必要で、今後の4年間は実務が鍵になる。



除雪車の遠隔操作実証実験



除雪体制の確立のため今後も開催が必要

町内除雪体制 施設整備も必要

● **除雪車両**の車庫がない所があり出勤にも大変苦慮している。早期の整備をお願いしたい。

● **空き家**の屋根の雪は除雪車両でも危険を感じる。特に道路沿いの空き家対策には早期の対応が必要。

地域の守り手

● **人材育成**、人を雇用する、人を育成する計画がないまま人を雇って良いのか。今のペーすでは間に合わないのではないか。すぐにも育成計画、費用負担を決めていかないと。育成には時間がかかるので。そこを早急に決めていかないと、それは始まらない。

● **建設業**の請負工事における週休二日制の適用について
働き方改革が進み、四週六休になってきていて雇用向上につながると考えるが、いずれは完全週休二日制をめざすために町の協力をお願いしたい。





ブナりん

教えて! 議会のこと

Vol.31



アカシヨウちゃん

「議会傍聴」について おさらいしよう!!



イワっぺ

只見町キャラクター ©Tadami

今回は「議会傍聴」について、議長に聴いてみたよ。



ブナりん 年4回開催の定例月の議会の際、おしらせばんに「是非傍聴にお越してください」と出ているけどもう少し詳しく教えて。

議長 紙面にスペースの限りがあるから議会だよりに載せられない内容があるんだよ。

1つの議案にいろんな角度で政策議論をしていることを聞いてほしいな。只見町の場合、通年で議会を開催しているから定例月以外の月でも傍聴できるんだよ。



イワっぺ 一度議場に行ってみたいな。

議長 定例月の議会ではおしらせばんに日程を載せているから確認して来てね。

アカシヨウちゃん 議場に行かなくても見ることはできるの。

議長 各振興センターで見ることができるよ。インターネットで議会を中継しているし、録画した中継を 유튜브 でも見られるよ。



ブナりん 傍聴で気を付けることはあるの。

議長 傍聴人が公然と可否を表明したり、騒ぎ立てる等、会議を妨害したりする場合は、議長・委員長から制止や退場を命ぜられる場合もあるよ。住民の代表機関である議会への住民意思の反映状況を見てもらふ趣旨から、本会議は原則、公開しているよ。

イワっぺ 委員会の傍聴はできないの。

議長 委員長に許可をもらえれば傍聴できるよ。

アカシヨウちゃん 傍聴席に入る手続きはあるの。

議長 只見町の場合は、①傍聴人受付簿に住所・氏名・年齢を記入、②所定の傍聴券を受け取る、③指定の入口から入場することになるよ。入室後は行政と議会とのやりとりを静観できるから、是非一度経験してみてね。町の現状が身近に感じられるよ。

ブナりん 皆さん、ぜひ議会傍聴に行ってみよう!!



只見町議会中継は、
只見町議会ホームページから
視聴できます。



総務厚生常任委員会

- 診療所の夜間救急患者への対応を
- コロナと豪雪に対する高齢者支援を
- 保育士の充実

朝日診療所の診療体制、町内の新型コロナウイルス感染拡大に対する対応、豪雪対策への対応、保育料無償化後の保育所の状況を調査した。

主な意見は次のとおり

①朝日診療所の診療体制は、常勤医は4月から9月まで3人体制となるが、夜間救急患者への対応できる診療体制を求める。

②豪雪に伴う対応について、除雪機購入補助要綱の改定、除雪支援保険の再検討、降雪被害の実態調査と対策

を求める。また、新型コロナウイルスの感染者増と豪雪により、昨年と比べくらしの状況は大きく変化しており、高齢者

への燃料費高騰に対応する支援策を求める。

③町民のニーズに沿った保育行政と保育士の充実を求める。



新型コロナワクチン3回目接種

経済文教常任委員会

- 只見高校野球部への支援を万全に
- 観光拠点として歳時記会館の活用を

只見高校野球部の甲子園出場の決定を受けて、町の対応策や支援策についての調査を行い、2月補正予算の確保や寄付金の集まり状況等を調査し、万全

の体制で出場を支えていくことを確認した。

また、歳時記会館、只見保養センターの指定管理者募集状況についての調査も実施したが、保養センターの指

定管理者は応募があったものの、歳時記会館については応募者がいなかったため、今後の運営方針についての調査を継続する。

付託を受けた2件の陳情については、融雪後の現地確認も必要と判断し、調査を継続することとした。



甲子園に駆けつけた大応援団

議会運営委員会

1 2月会議以降3月会議までの間、議会運営委員会では下記の件について審議された。(抜粋)

- 1月20日 只見町議会1月会議の開催について協議
- 2月16日 只見町議会2月会議の開催について協議
- 議員研修の充実を図るため図書資料の充実について協議
- 図書室の充実とパソコン導入やWi-Fi環境等について協議
- 2月24日 只見町議会3月会議の開催について協議
- 会議日程を3月2日から11日までの10日間に決定
- 請願・陳情、諸般の報告、各委員会所管事務調査報告、各一部事務組合議会報告、一般質問の通告内容、全員協議会の開催と内容、予算特別委員会審査要綱等、各委員会所管事務調査事項の通知について協議

広報広聴常任委員会

- ①議会だより167号発行作業（4月22日発行）
- ②議会広報を通じて町民の方に行政内容が分かりやすく、読んでみたくなる広報誌の発行を目指し取り組んでいく。
- ③町民の声を市政に反映させるための広聴活動にも力を入れ取り組んでいく。

一般会議募集のお知らせ

広報広聴常任委員会では町民の皆様からの様々な意見を聴き議会活動、市政に反映し、より良いまちづくりを考える場として一般会議開催の募集をしております。

テーマ テーマはまちづくりについてどのような事でも構いません、申し込みの際にお知らせください。

開催方法 日時・場所については皆さんの都合に合わせてご相談させていただきます。

申し込み方法 議会事務局へご連絡ください。(TEL 82-5300)

町民の皆さんと議会が一緒になりまちづくりについて話し合ってみませんか！

南会津地方広域市町村圏組合議会

●只見出張所新築

1月12日全員協議会において、消防出張所・分遣所庁舎整備基本計画(案)について説明があった。特に只見及び伊南出張所は、耐震性能ランクC判定で防災拠点として必要な基準を下回っており、各出張所及び分遣所の建替え、改修等が必要である。

1月12日全員協議会と2月22日定例会では、令和4年度一般会計予算が可決され、総額は10億5610万円、前年度対比約1億4千万円増となった。只見出張所の設計委託料、庁舎造成工事費、各分遣所の増改築費が主な因で、只見出張所は令

南会津地方環境衛生組合議会

●西部クリーンセンター旧焼却炉解体へ

2月22日定例会において、令和4年度一般会計予算が可決され、総額は10億5335万円、前年度対比約590万円増となった。東部衛生センター管理棟及び西部クリーンセ

ンター旧焼却炉解体工事にかかる経費の計上により、組合3町の議会総務関係負担金が増額となっている。歳出では解体工事を含め各施設の定期点検修繕等の経費が主なもので、

和5年度中の新庁舎完成を目指すことになる。

(千円未満切り捨て)

令和4年度	令和5年度	令和6年度
基本設計		
実施設計		
測量・地質調査・造成設計	建設工事・外構工事	旧庁舎解体工事 ※アスベストなし
造成工事		

今後の整備予定

剰余金積立金として651万円が予算計上された。

只見町分担金は、

前年度比で議会・総務費が増額、火葬、し尿処理費、ごみ処理費が減額、前年度比488万円の増の1億2763万円である。

(千円未満切り捨て)

表紙の写真に想つ



3月22日、只見町の歴史に残る貴重な時を全国各地、多くの方々が、只見高校、只見町を応援。

兵庫県立東灘高校、神戸鈴蘭台高校、プラスバンドの皆さんが寒い中友情応援、本当にありがとうございました。

全国から甲子園に駆けつけて応援してくれた人達、そんな中に東京から駆けつけてくれた「只見」と言う姓の女性、「只見高校の甲子園出場が嬉しくてきました」、そんな偶然の出会い、多くの感動を与えてくれた。

只見高校のみなさん本当にありがとう！



令和3年度

全国町村議長会特別表彰

表彰3議会 福島県只見町議会・鳥取県琴浦町議会・岡山県美咲町議会

全国町村議長会 特別表彰を受賞して

只見町議会議長 大塚純一郎

本議会は、全国町村議会議長会より栄えある特別表彰を受賞しましたので、議会を代表して、日ごろ町民の皆様のご指導に感謝して、ご報告申し上げます。さて、振り返ると町



先輩方の功績を讃え

村議会は、地方分権改革に伴い自治体経営の自立に向けた法整備が進められ、自己決定、自己責任という自由と責任の領域が拡大され、議会の役割と責任が飛躍的に重くなりました。

平成23年3月、福島県内初（全国7番目）の通年議会制度をスタートさせました。「わかりやすく・しっかりと討議し・政策提言する議会」を目標に、会期を1年とし、議会活動を機動的に会期に捉われず活発な議論が展開され、災害時の迅速な対応・突発的な行政課題など、常に執行機関との円滑な連携が可能となりました。

平成27年には、広聴機能の充実を図るため、広報編集委員会を段階的に特別委員会、更に常任委員会に格上げしました。議会だより町村議会広報全国コンクール2回の入選をはじめ、議会報告会、一般会議では町民、各種団体、NPOなどとの意見交換会を随時開催して民意の反映に努めております。

特に、平成16年地方自治法改正以降、定例会の回数が増え、首長の専断要件の制限等、議会機能の一層の充実強化が求められ、従来の慣例重視の議会運営を改革してまいりました。平成20年には、地方自治法の定めを遵守して、本議会独自の成文化した議会運営基準を定め、わかりやすく透明性のある議会運営に努めて参りました。

また、平成24年3月制定の「只見町議会基本条例」は、通年議会制度をフルに活用して全議員で構成する基本条例策定会議を設置しました。議会運営や議員活動、行政監視など基本事項を20数回の協議・検討を重ね重要案件の議決や予算の修正など、行政監視機能の充実に努めて参りました。

この度の表彰に恥じぬよう議会基本条例の理念・通年議会制度の目標に向けて、町民の声に真摯に耳を傾け「開かれた議会」の実現に努力してまいります。

また、地方分権改革に対応して、全国に先駆け「通年議会制度」の検討に着手し、1年余の試行期間を経て、

結びに、この度の受賞にあたり長年議会活動にご尽力頂いた先輩議員各位並びに関係皆様のご指導とご支援に心から感謝申し上げます。



各議員のところにQRコードを付けてみました。一般質問の様子が見れます。ぜひ見てね！

*注 今回は2名が一緒に録画動画になっています。



アナりん

一般質問

- 酒井正吉郎14
未来に託せる持続的なまちづくり
- 矢沢 明伸15
町内雇用環境は厳しい状況に
- 小沼 信孝16
国道に公衆トイレ整備を
- 佐藤 孝義17
薪ボイラー導入に向けた具体策は
- 鈴木 好行18
冬期室内練習場の設置計画は
- 酒井 右一19
只見の産業基盤は何か
- 三瓶 良一20
複合駅舎の早期建設を
- 菅家 忠21
教員不足の解消のためには
- 山岸 国夫22
国民健康保険税の軽減を求める
- 齋藤 邦夫23
年金で入所できる安価な施設整備を

町政を問う

町を想い10名が

一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針を問い、政策の提言などを行なうことです。

未来に託せる 持続的なまちづくり

答 事業ごとに整備したい



さか い しょう きち ろう
酒井正吉郎 議員

問

JR只見線の全線開通に合わせた只見駅前賑わい創出事業について、町長はこの事業を3〜5年実施しその後只見駅の複合化に結びつけたいと言われている。現時点でこの事業はどこまで進展しているのか。

答

駅前第一エリアにおいて出店を決定した2社の事業者のうち(同)ねっかにおいては、どぶろく・甘酒の製造販売を行う内容で、ここでしか買うことのない商品開

発を計画されており、(有)セイワ電子においては、味付けマトンケバブ・田子倉ダムカレーなど、只見のご当地グルメを中心に飲食サービスの提供を計画されている。そして総合案内を行う(株)会津ただみ振興公社と連携した取り組みにより、駅前の受け入れ態勢を整える。

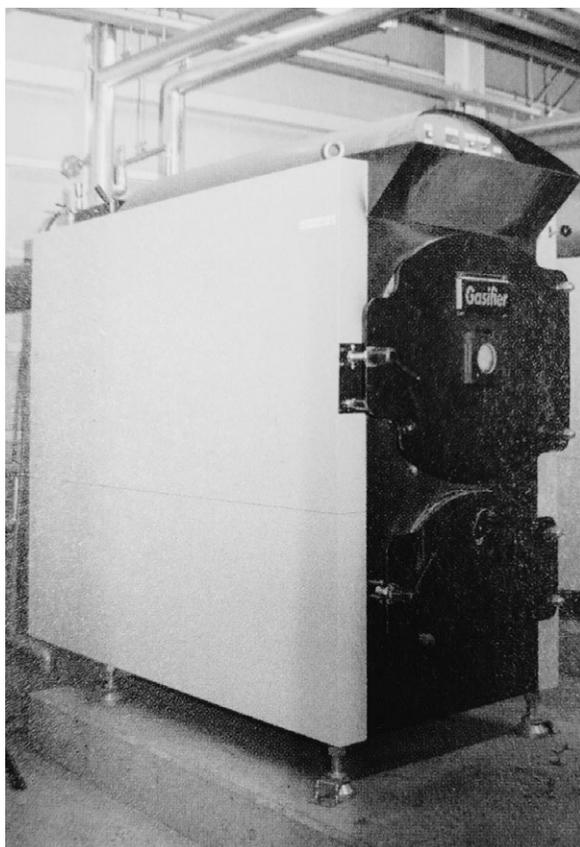
問

薪ボイラー導入事業について町

は地域にある山林資源を活用し、地域内経済の循環に寄与するシステムづくりをしたいとの事だが、現時点での検討結果は。

答

担当部署については4月から新たな係等を設置したいと考えている。導入先



人気の国産薪ボイラー

ことで、薪の供給で未

利用となつていている森林資源の有効活用により、健全なる森林育成に寄与すること、さらに産業振興にもつながると考えている。

問

季の郷湯ら里の施設等リニュー

アル準備について、令和3年3月以後一度も審議されていない。今後のスケジュールは。

答

現在、施設の運営の根幹である

源泉の揚湯量減少という喫緊の課題が発生し、専門的な調査、解析を進めており、新たな源泉掘削の目処が立った上で、施設等リニューアルについてはしかるべき時期に議会に示し進めていきたい。

町内雇用環境は 厳しい状況に

答 生活基盤となる就労雇用対策が必要

問

今、お知らせに多くの求人情報が掲載され、町内の雇用環境は大変厳しい状況にある。雇用、就労環境は今後の町づくりの根幹にかかわるものではないか。町全体の人材確保、その雇用環境づくりを町としてどうしていくか、そ

のようなことを再認識する時期ではないか。

答

町づくりの根幹だと同じく受け止めている。今年特定地域づくり事業協同組合が設立されるが、このことをきっかけにしていろんな選択肢を広げ考えていくことが必要。

問

振興計画、人口ビジョン総合戦略さらに過疎計画など行政の主要施策の中で雇用の創出として項目を掲げ目標としている。総合戦略は実行計画として位置づけされており、具体的に取り組みが必要なのではないか。

答

総合戦略や実施計画これを具体的に検討していくところが今町役場弱いと感じている。
地元の経営者の方々とのお話を聴く、意見交換などの場づくりなど、担当課含め検討していくことが必要と感じている。

問

進学のため町の奨学資金制度、改訂され充実が図られているが、只見高校生に地元のへ定着のため、求人等の取り組みなどアプローチが必要でないか。

答

そういった姿勢は大事だと思う。今年卒業の山村教育留學生の方1名が町内に就職される。今後只見高校生の定着が図れるようお願いなど条件を含めて検討していきたい。

問

町のUターン支援施策の支給要件に35歳未満など子育て世代等年齢要件があるが、今の社会情勢、定年延長や国、ハローワークでの中高年齢雇用の促進、助成等が図られている中、そういう側面から加味し対応することができないか。

答

提案のあった趣旨、従来なかった視点であり、Uターン支援策の年齢要件等については検討していきたい。



就労、雇用は大切な生活基盤



のぶ あき ざわ や
矢沢明伸 議員

国道沿いに 公衆トイレ整備を



お ぬま のぶ たか
小沼 信孝 議員

答 来訪者のために重要と考える

答 町内には7か所と登山や自然散策が行われる期間、仮設トイレを4か所設置している。

問 現在町内にはいくつの公衆トイレがあるのか。

答 来訪者のおもてなしのためには、きれいで、快適なトイレ環境を提供する事が重要と考える。

問 観光に力を入れていく町には公衆トイレ整備が必要ではないか。

答 冬期間利用できないトイレは蒲生集会所の「さわやかトイレ」1か所しかない。国道252号289号線沿いに公衆トイレを整備してはどうか。

問 今後のインバウンドを考える上でも、外国人は和式トイレの利用は難しいことや衛生面での洋式トイレとの差が歴然としている。そういったところも改善すべきではないか。

答 検討していきたい。

問 冬期間利用できないトイレは蒲生集会所の「さわやかトイレ」1か所しかない。国道252号289号線沿いに公衆トイレを整備してはどうか。

答 道路沿いの公衆トイレの必要性は認識している。

問 モノとくらしのミュージアム付近にトイレと産直販売などが出来る施設を併設し、訪れる方、地域の方とのコミュニティの場にも利用して頂

けるような整備の考えはないか。

答 地域の人を含め、集まってもらえるような場所も大事だと思うので検討していきたい。

問 トイレ改修をして水を大切にしながらSDGsの目標に沿う取り組みをするべきではないか。



復旧が待たれる黒谷林道

答 節水を含めて検討していきたい。

黒谷林道復旧工事は

答 復旧を進める方向で

問 豪雨災害後復旧に至っていない区間はどうかされるのか。

答 起点から6・8キロメートルの

区間は復旧が完了し、その先に続く国有林区域内の併用区間約2・4キロメートルについては現在工法の検討をしている。

問 林道未復旧箇所が下流に流失し下流の河川環境の悪化につながっているのは、是非とも林道を復旧し崩落箇所の対策をするべきでないか。

答 法線や工法を検討中であり、大事な視点だと受け止めさせていただく。

薪ボイラー導入に 向けた具体策は

答 担当係を設置し導入を検討

問 令和4・5年度
実施計画書にあ
る事業内容を問う。里
山林保全対策事業（カ
シナガ）の効果と目的
は。

答 只見向山の保存
木への樹幹注入
は枯死を防ぐ一定の効
果があると考ええる。調
査研究の事業ではない

が、引き続きカシナガ
の被害対策を講じてい
く。

問 ①森林環境譲与
税事業②森林環
境交付金事業（基本枠）
③森林環境保全直接支
援事業（造林補助）の3
事業は、国県の事業で
あるが、町独自の林業
振興にも使えないか。

①は温室効果ガ
ス排出削減目標
の達成や災害防止等を
図るための国からの地
方財源で、伐採後の再
造林が基本で、特に手
入れが行き届かない森
林の整備を進める。
②は県の森林環境税
が財源で、県の実施要
項に基づき県民参画の
推進、森林の適正管理
推進、森林環境学習の
推進、森林整備の推進
を実施する。
③は従来の造林事業
で町有林の保育事業に
活用するもので、森林
経営計画を策定の上条
件に合致した事業実施
に補助が受けられる。

答 ①は温室効果ガ
ス排出削減目標
の達成や災害防止等を
図るための国からの地
方財源で、伐採後の再
造林が基本で、特に手
入れが行き届かない森
林の整備を進める。
②は県の森林環境税
が財源で、県の実施要
項に基づき県民参画の
推進、森林の適正管理
推進、森林環境学習の
推進、森林整備の推進
を実施する。
③は従来の造林事業
で町有林の保育事業に
活用するもので、森林
経営計画を策定の上条
件に合致した事業実施
に補助が受けられる。

問 地元産材活用支
援事業は町の単
独事業であると思う
が、初年度27年からの
実績は。

答 事業開始以降実
績件数が低く推
移している。住宅建築

はプレカット材の仕入
れ施工が現状のため、
車庫等、付属家の申請
が主となっている。関
係者の意見を聞き引き
続き取り組む。

問 薪ボイラー導入
事業は、新規事
業で湯ら里に導入し、
町公共施設等にも考え
ていきたい旨の話が町
長からあった。ユネス
コエコパーク、SDG
Sの観点からも有効だ
と考えるが、今後の具
体策は。薪ストーブが
見直されているが、薪
確保のため薪の生産を
産業化できないか。

答 町内にある未利
用となっている
山林資源の活用が促さ
れ、地域内経済の循環
に結びつくことから、
まずは4月に担当係等
を設置し、導入に向け
た検証や仕組みづくり
を進める。薪ボイラー
の公共施設への導入に

は、薪の供給体制の検
討も必要。この体制が
構築できれば、薪の生
産も産業化していく。



森林整備の推進を



よし たか とう さ
義 藤 孝 議員

冬期室内練習場の設置計画は



すずき よしゆき
鈴木好行 議員

答 必要性はあると考える

答 具体的な構想には至っていないが、何らかの室内運動場の必要性はあると考えている。幅広い世代がスポーツに親しめる環境を提供できるように検討していく。

問 只見高校野球部の甲子園出場も踏まえ、豪雪地域のハインディを減らすために冬期の室内練習場の設置が必要と思われるが、考えは。

問 町下野球場のナイター設備の設置計画や老朽化した町下管理棟の整備計画はあるか。

答 野球場のナイター設備は、硬式野球の公式試合ができるJIS基準を満たす規模には及ばないが、内野の守備練習や連係プレーの練習が出来る程度の照明施設整備を当初予算に計上した。町下管理棟の整備計画は、室内練習場との一体的な整備を視野に入れ、内部協議をしている段階だ。関係者の意見を伺いながら検討を進めたい。

問 若い人のスポーツ離れが進んでいる。解消策としてスポーツジムのな施設整備の考えはあるか。

答 必要性を感じている。出来る方向で検討する。

問 グラウンドゴルフやゲートボールをする場所に日陰を要した休憩所の設置が必要と考えるが計画はあるか。

答 冬期間の維持管理などの課題があるので、テントなどの簡易的な設備で検討したい。

雪まつり中止決定の時期は適切か

答 感染予防対策を徹底し、開催できると判断した

問 全国的な感染拡大の中、中止決定の時期が遅かったのではないか。

答 感染予防対策を徹底し、実施の決定をしたが、会津若

松市がまん延防止等重点措置の対象区域になったため、中止の決断をした。

問 雪まつりの準備に費やした費用はいくらか。

答 総額で1109万円余りと見込んでいます。

問 結果として町費を無駄に費やしたことについて、反省すべき点は何か。

答 雪まつり開催手順の確認や、町のPR等一定の効果はあったと判断しているが、今後コロナ禍におけるイベントのあり方を検討していく。



大量の雪が集められた雪まつり会場

只見の産業基盤は何か

答 難しいと思っっている

問 発電ダムによって人や土地を失い、産業基盤を無くした只見川流域（地域）の産業基盤をどう立て直す考えか。振興策を聞きたい。

答 只見川電源流域振興協議会等と協働しているが、財源確保の問題から産業基盤を作っていく難しさを認識している。

問 只見の産業基盤とは何だと認識しているか。

答 工業出荷額から見れば製造業、また農業、観光業とも言える。答弁になっていないかも知れない。

問 町長の答弁には深みがない。私の手元に20年前に作られた「只見町産業おこ

し戦略」がある。具体的な実施計画書、「みんなで挑戦只見町産業おこし計画」だ。これには、今に至る中心市街地活性化計画にも触れている。人口減少に伴う産業振興の問題は歴代の町長が腐心され研

究されている。また、しっかりした調査結果も出ている。しかし今日の町政、過去の「経験や知的財産」が全く活かされていない。歴代積み上げた知的財産が活かされず、時間と金をかけて

只見町「産業振興基本構想」 みんなで挑戦産業おこし計画

只見町産業振興懇話会



20年前に作られた「産業振興基本構想」

はまた作り、また捨てる。行政に継続性がない。中心市街地活性化計画についてもそうだ。この計画は平成26年度に着手され平成28年度まで続いた。さらに平成29年度予算も含めると、投下された公金合計は（国庫補助分も含む）1500万円に及んでいる。いま町長が提案している「賑わい創出事業」は、過去の「中心市街地活性化計画」の一部と只見町構想、これと全く同じだ。予算・決議議決されたこの計画を捨て、なぜ新たに「賑わい創出事業」として提案し、混乱させる必要があったのか。

答 事業の名称を変えたことに特段の意図的な意味はない。思いは当時と同じだ。



さか い ゆう いち
酒井右一 議員

複合駅舎の早期建設を

答 当面は賑わいづくりを進める



さん べりょう いち
三瓶良一 議員

問 JR只見線の全線開通は今秋実現する。特別列車の運行も始まり、1度に150〜200人の観光客の来訪も予想される。現駅舎では受入れできない。複合駅舎は3〜5年後の計画ではどうにもならない。会津川口駅前が2年前に無雪化された。只見町は遅れている。急ぐべきだ。町の衰退に歯止めをかけたかとの思いで牧野組合や大勢の個人が木材の無償提供を言っている。急ぐべきではないか。

答 複合駅舎は只見町の顔となるものだ。当面は賑わいづくりを進める。複合駅舎についてはJRと協議を進めている。駅舎の位置、移動に伴う設備や機能、その他の検

討が進められている。町は駅舎周辺施設、駐車場、飲食売店、観光情報機能等の検討と要請を行なったところだ。木材の無償提供はありがたい。含めて検討したい。



複合駅舎化されている会津田島駅

観光協会 解散後のあり方は

答 外部人材の確保も重要

問

観光まちづくり協会解散の原因は分かりづらい。協会の主たる業務内容は、誘客宣伝、観光案内、観光土産品の開発販売、イベント等観光関連業者全体の公益に資することが本来の仕事だ。湯ら里、特産とは本質的に異質だ。なぜ統合するのか。

答

協会は人的にも財政的にも厳しいので、振興公社に移管することで合意された。一般社団法人と株式会社の違いで観光協会が解散するものだ。観光行政については、組織の集約化、人材確保、新規サービス、商

品開発等考えている。予算に外部人材の確保に係る予算を計上している。

問

小出から会津若松間ではどのような活性化協議をされているか。欲を言えば毎週土日祝日は観光列車の運行がほしい。それには地元の受入れ態勢が必要だ。

答

沿線活性化協議会ではイベントを含め協議しており、特別列車の運行事業は本格的な復旧になれば当然走っていたかどうかと観光の目玉と考える。おもてなしをしかりとしていきたい。

教員不足の解消のためには

答 県と町で教員の多忙化解消を目指す

問

令和4年度に小学校と高校の教員数が減少すると聞いている。産休や育休を気兼ねなく取れる環境にするためにも、未来を担う子どもたちを導く教員の不足解消は、医師・看護師不足の解消と同等の町の優先課題だと考えるが、町長の考えを問う。

答

教職員の不足については全国的な問題となつている。公立小学校教職員試験の倍率は2・6倍で過去最低を更新し、産休、育休者の補充すらままならない状況である。県と町が協力して教員の多忙化解消に取り組んでいる。居住環境を整えることも重要と考え、教員住宅のエアコ

ン設置予算を令和4年度に上げている。只見町教育ポータルサイトで情報発信し、学校運営協議会で住民と相互に協議できる場を作っている。

問

学校の先生の時間外勤務を少なくしたいと考えるが、3小学校で同じ授業を同時にオンラインで実施することができないか。その授業中は2校分の先生の手を空けることができる。極端に言うと「先生の数が3倍になり、生徒の友達の数も3倍になる」考え方ができる。今後考えていかなければならないことは、「先生の数を増やせないのであれば、どうやって業務

を減らしていくか」である。僻地医療という言葉があるのであれば、僻地授業の言葉を作り只見町を過疎地の教育の先進地にしたいと考えている。目指すべきゴールは、只見町が先生から選ばれる場所、先生自身が学べる環境、働きやすい職場環境が大切だと考える。

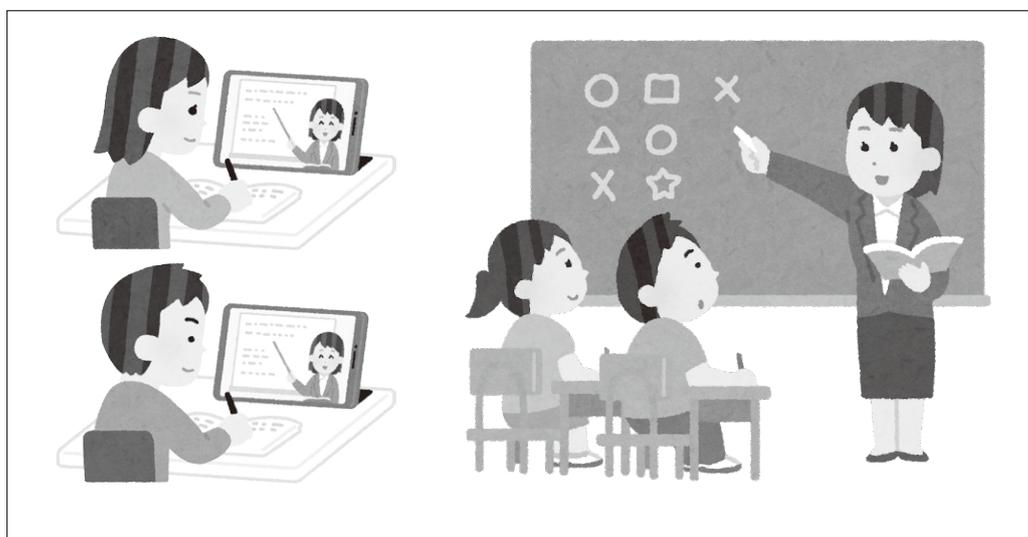
答

同じ授業をオンラインで実施することについては、教科による。道徳などの単発の授業は教科書の進行速度が違ってても可能だと考える。今後、各学校の先生方と検討したい。

※他に行政情報の発信、新地方公会計制度についても質問しました。



ただし
議員
菅 家



1校の対面授業に2校がオンラインで参加

国民健康保険税の 軽減を求め

答 県の統一保険料に備える



やま ぎし くに お
山岸 国夫 議員

問 国民健康保険税は、協会けんぽと比較しても高額となっている。全国知事会、全国市長会、全国町村会は加入者の貧困化と高すぎる保険料に1兆円の国庫負担増を要求してきた経緯があり、国民健康保険税が高額となっているという認識は全国的なものとなっている。令和4年度から未就学児の国保税の均等割りの軽減対策をとるようになったが、これは、世論の反映である。

新型コロナウイルス感染症の影響やコメの暴落などが町民生活に多大な影響を与えている。基金を活用して国保税の軽減を図るべきでは。

答

基金は、医療費の値上げ、保険給付に要する費用に不安が生じた場合、大幅な保険税率の引き上げを緩和する等保険税の水準について適切な見直しを行なうために充てるとしている。県の統一保険料に備えた対応も視野に入れて対応する。



難聴者へ 補聴器購入補助を

答 専門家の意見を聞くなど検討

問

軽度・中程度難聴者への補聴器購入補助を制度化するよう求める。補助を行なっている自治体は全国で50と広がっている。難聴と認知症の関係研究も厚労省補助事業で行なわれている。

答

医療など専門家の意見を聞くなど検討する。

問

耳が聞こえにくくなっている人の実態調査を介護認定時のみでなく、健康診断時行なうことを求める。健康診断時に専門医もいて聴力検査している自治体もある。

答

実態調査のあり方を研究していく。

問

補聴器を必要としている方は、購入に際して情報が得

答

周知について研究する。

問

県の軽度・中程度難聴児補聴器購入費等助成事業補助金制度に対応した町の制度は何か。

答

町の要綱制定を急ぐ。



仲良く会話ができるようになったね！

年金で入所できる 安価な施設整備を

答 在宅と施設の良さ・第三の住まい検討

問 老々介護や認知症高齢者の増加により在宅介護が困難な世帯が見受けられる。介護保険制度は高齢者の不安を解消するために制度化されたもので国民年金収入のみで入所できる施設はない。安価で入居できる高齢者施設が必要と考

える。施設待機者と今後の整備方針について問う。

答 町の高齢者福祉計画では、居住

の場の充実を図るべく高齢者生活福祉センターを活用しつつ、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で暮らせるよう、冬季対策にも考慮

した高齢者集合住宅の活用など、在宅と施設のそれぞれの良さを併せ持つ、第三の住まいを検討するとしている。施設待機者は現在、只見ホーム33人、あさくさホーム21人。

問 福祉計画では施設利用者は横ばいとして、施設整備の計画はない。入所待機者が50人以上、さらに、年金暮らしで入りたくても入れない人もいる。集落の高齢化により集落の福祉力の低下を踏まえ、第三の住まい構

想の実現に期待する。国の補助など当てにせず単独で町民の要望に応え、安価で入所で

きる施設を検討頂きたい。

答 その方向に向かつて角度は違う

が目的は同じだ。今後さらに検討させて頂く。

問 地域包括支援センターの機能強化について、具体的対策を問う。

答 高齢者が安心して地域で独立した日常生活を営むため、医療・介護・生活支援など高齢者が抱える様々な相談の総合相談窓口として地域包括支援センターの機能強化を図っていく。具体的には、令和4年度

職員業務研修を行うなど、令和5年から地域包括支援センター業務を町社会福祉協議会に委託する。

問 町は委託先の人的体制とお金の裏打ちが大事である。職員の採用、派遣、出向など、スタッフの身分、待遇について問う。

答 地域支援センター委託事業に係る人件費等の費用は、町が財政的な裏打ちを行ない事業の安定化を図る。



さいとうくにお
齋藤邦夫議員



認知症サポート養成講座 (明和小学校)

おひらを通して学んだこと



朝日小学校

6年 目黒ゆまり

私はおひらを通して、昔の伝統食について学ぶことができました。

おひらは、当時の貴重な食材を使っているところもごちそうだということが分かりました。そして、ほかの地域と物のやりとりをして得る食材もありとても良かったです。伝統食は相手を心から大切にしていることを伝えること

ができて健康食としても十分効果があるのですごいなと思いました。実際に作ることもできてよさを知ることができました。



只見の川から海を守りたい



明和小学校

6年 三瓶 煌羽

僕たちは総合的な学習の時間に伊南川のごみの調査を行いました。予想では、きれいで全

くごみもないと考えていましたが、実際はたばこの吸い殻や空き瓶、金属の建材などがあり、とてもショックを受けました。伊南川から只見川と川沿いをたどって新潟の海まで行った学習では、途中の只見川や日本海ではさらに多くのごみを見かけました。

只見のごみが海へ行き、海洋ごみになっているかもしれないと考えると怖かったです。僕はきれいな只見の川を守るため、空き時間にごみ拾いをしていきたいです。



編集後記

2年前の3月29日が只見町議会選挙の開票日でもう2年が経ちました。勉強不足なこと、実現できないことが多かったとふり返っております。委員会活動では調査事項を決めて活動しておりますが、経過を示すことができて、結果を示せなかったと反省しております。

只見高校野球部のように結果を出し、町民の皆さんを元気にする。子どもたちのために大人ができることは沢山ある、子どものためだったら町はひとつになれる。そんな可能性を感じさせてもらいました。只見高校の皆さんに感謝申し上げます。小さな変化から大きな変化になるよう、これからもわかりやすい紙面作りに努めてまいります。皆様のご意見ご感想をお待ちしております。

(菅家 忠 副委員長)

発行責任者

議長 大塚純一郎

広報広聴常任委員会

委員長 小沼 信孝

副委員長 菅家 忠

委員 中野 大徳

委員 山岸 国夫

委員 鈴木 好行

委員 酒井正吉郎